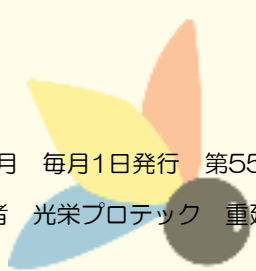




光栄の森

平成25年1月 毎月1日発行 第55号

発行者 光栄プロテック 重延



新年を迎えるにあたって

□

代表取締役 三田雅憲

今年も、もう残り少なくなりました。世間的には、政権交代で再び自民・公明両党の政権が復活し、そしてなぜか再び安倍晋三が首相になりました。毎度の事ながら、政治家はすごいことをおっしゃるのですが、真実味がなく、よって投票率も低い状態で今回の選挙も行われました。年長者の方には少し申し訳ないのですが、これから日本を背負う若者に対してもう少し夢のある政策・新しい分野に対しての規制を少しゆるめ、いろいろな企業や個人がその分野に参入し、新たな産業や店を出せるような仕組みをより一層できるようにしてもらいたいと思います。復興税に関しても、国民が納得したもので、困った人に行き渡るような方法を作り出し、生きた金になるように使ってもらいたく感じております。その小さい単位が、企業であるともいえます。中堅や若年社員が、夢を持ち仕事に打ち込みお客様に喜んでもらえるような会社。ベテラン社員も、その若手社員をご自分の経験を通してサポートやアドバイスをしながら共に切磋琢磨できさらに、周りから尊敬される社員でいてもらうよう周りも努力する。小さいけれどキラリと光った会社。皆が思いやりと安心感そして自己研鑽をつめる場所としての会社になるように、トップである私が一緒になって頑張れるようにしていきたいと考えております。そのためにはどうすればいいのか、まず私自身が人間としてしっかりと切磋琢磨し、器を広げ・寛容になり思いやりを持って皆と接すること。仕事をしてもらえることを感謝し労うこと。そして営業面では、絶えず新しい分野のお客様や新しい取引先と出会いそこからの様々な要求や品質にこたえられるように努力をする。工場面では、絶えず生産性を高め、より良い製品が低コストで仕上がるように努力すること。財務面では、品質やコストのバランス。『もったいない』の精神で物や時間を大切にしながら極力出費を減らすこと。少しでも預貯金を増やすこと。そして、日々笑顔でいることと反省することを励行し、自立した人間になれるよう社員一同で頑張ろうではありませんか。

朝礼でも話をさせていただいたのですが、毎年12月の休みの日に私の身内と家内の身内の合同で、餅つきをやっています。最初の頃は、道下会長や私の父親なども元気満々で『われがわれが』の精神でよく餅をついてもらっていたのですが、今年はどちらも体力的にダメだということで、ほとんどついてもらえませんでした。あれだけ楽しみにしていたのに、体力的に難しくなる。改めて人間の老いることと、自分達がしっかりと自立して、継承すること(先輩がやってこられたことをより良い状態にして続けていくこと)をやっていかなければならないと強く思いました。継承することは、Dで言うほど易いものではありません。逆に難しいものなのかもしれません。しかし、私たちはそういう状態を想像して、次にコマを進めていかなければならないと思うのです。会社もいつまでも待ってはくれません。お互いに自立し責任感を持ち良い意味で、家族的な会社になれるよう来年を迎えたく思います。

